



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 住友林業株式会社
代表者名 代表取締役社長 光吉 敏郎
(コード番号: 1911 東証プライム)
問合せ先 コーポレート本部
コーポレート・コミュニケーション部長
水野 隆
(TEL 03-3214-2270)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2026 年 5 月 7 日に公表した業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 業績予想の修正

2026 年 12 月期通期 連結業績予想数値の修正 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,590,000	157,000	160,000	95,000	155 円 9 銭
今回修正予想 (B)	2,950,000	143,000	115,000	60,000	97 円 85 銭
増減額 (B-A)	+360,000	△14,000	△45,000	△35,000	—
増減率 (%)	+13.9%	△8.9%	△28.1%	△36.8%	—
(ご参考) 前期実績 (2025 年 12 月期)	2,267,577	168,724	174,900	106,666	174 円 13 銭

2. 業績予想の修正の理由

海外住宅事業において、Tri Pointe Homes, Inc. (以下「TPH 社」)の子会社化によって、売上高が前回公表値を上回る見込みです。一方で、TPH 社買収に伴い発生したのれん等の償却や株式取得関連費用、支払利息などが発生することに加え、米国の戸建住宅事業において、住宅ローン金利の高止まりや経済の先行き不透明感等により、住宅購入層の様子見姿勢が続いたことやインセンティブ付与などを主因に、利益額が前回公表時の想定を

下回ること、さらに、米国不動産事業において、物件売却数の減少および、一部の LP(リミテッド・パートナー)投資案件について、個別プロジェクトの収益性を精査し、評価損を計上したことなどにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表値を下回る見込みです。

(注)本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上